

祈りの友 第181号

2021年9月

～会長室から～

人々にお祈りをお願いするとき

神の人々の心からの祈りには力があります。

リース・カウフマン



私は聖書箇所を理解や認識を深めるため、詳訳聖書をよく用います。ヤコブ5章16節のよく知られている約束を読んでいたとき、特に私に語りかけたところがありました。

「正しい人の真剣な（心からの、絶えない）祈りには非常な力が与えられるのです。（力強い働きをします）。」

私たちのために祈ってくださいと人々にお祈りするときに、私たちは神さまが言っておられる非常な力が私たちの働きに与えられるようにと待ち望みます。私は海外へ旅行する準備をするとき、よく私の働きのために具体的に祈ってくださるようお願いします。ときどき、私は祈りをお願いしないまま、国内旅行に行ってしまうことがあります。しかし人々が祈ってくださるとき、そこにはとても大きな違いがあります。

使徒パウロは祈りの価値を知っていました。彼はよく人々に祈るようにお願いし、神さまの力が非常に力強く働くのを見ました。

ローマの教会に、「私とともに力を尽くして神に祈ってください。私がユダヤにいる不信仰な人々から救い出され、またエルサレムに対する私の奉仕が聖徒たちに受け入れられるものとなりますように。」（ローマ 15:30-31）とお願いしました。彼はコリントの教会にも書きまし

た。「…なおも救い出してくださるという望みを、私たちはこの神に置いているのです。あなたがたも祈りによって、私たちを助けて協力してくださるでしょう。それは、多くの人々の祈りにより私たちに与えられた恵みについて、多くの人々が感謝をささげるようになるためです。」

（Ⅱコリント 1:10-11）イエス・キリストに仕えているとき、パウロを危険から救い出してくださるために、神さまが力強く働いていることをパウロは知っていました。

コロサイ 4:3-4 では、こうお願いしています。「同時に、私たちのためにも、神がみことばのために門を開いてくださって、私たちがキリストの奥義を語れるように、祈ってください。この奥義のために、私は牢に入れられています。また、私がこの奥義を、当然語るべき語り方で、はっきり語れるように、祈ってください。」

パウロはみことばを宣べ伝える機会が与えられるように、また明確にメッセージが語れるように祈ってほしいと言っています。

またテサロニケのクリスチャンに書いています。「…兄弟たちよ。私たちのために祈ってください。主のみことばが、あなたがたのところと同じように早く広がり、またあがめられますように。」（Ⅱテサロニケ 3:1）彼は神さまのメッセ

ージが早く人々に届き、受け入れられるようにと願いました。

またエペソの教会にパウロは嘆願しています。「また、私が口を開くとき、語るべきことばが与えられ、福音の奥義を大胆に知らせることができるように私のためにも祈ってください。私は鎖につながれて、福音のために大使の役を果たしています。鎖につながれていても、語るべきことを大胆に語れるように、祈ってください。」(エペソ 6:19-20)

パウロは福音を大胆に宣べ伝えるために神さまの大きな力が与えられるようにと願いました。

人々の必要に合わせた内容、メッセージの話し方、また通訳者の正確さは私にとって大きな問題です。海外を旅行していて、一日に三回話すようなときには、私の働きの中での祈りの力が明白に表れます。確かに人々が私のために祈ってくださるとき、話題も話し方もぴったりで、自分の能力以上の話をし、すべての焦点が明確に合うのです。

祈りの結果、私の信仰は強められ、私は神さまにもっと近く引き寄せられます。私の心は神さまへの感謝で満ちあふれ、私の働きに神さまの力が明確であることに畏敬の念を覚えます。パウロの祈禱課題は彼の働きに的がしぼられています。不信仰な世に福音を広げることには焦点をあてていることが明確です。神さまのしもべである私たち全員がいただくことが出来る力をどのように手に入れたら良いかをパウロは知っていました。パウロの例にならい、門戸が開かれ、私たちが恐れず、明確にキリストを救い主、また主として宣べ伝えることができるように、子どもたちへの私たちの働きのために人々に祈ってくださるようお願いしましょう。(国際CEF会長)

—1998年11月の「祈りの友」の巻頭言を再掲載しました—

日本CEF(日本児童福音伝道協会)

〒311-3434 茨城県小美玉市栗又四ヶ 2421-6

TEL 0299(28)2031 URL:<http://www.cef.or.jp>

献金振替 00160-1-59313

(宗) 日本児童福音伝道協会